

平成 28 年度佐賀関支部公益事業 活動報告

佐賀関支部 渡邊豊基

本年度の公益事業は、テーマを“伊予街道と旧軽便鉄道敷を歩きながら考える”～幕末の志士が駆け抜けた佐賀関と歴史的建築物を訪ねて～と題して、2月26日に開催しました。

当日は、会員や一般の方を含め30人が参加し、坂本竜馬や勝海舟が往還した「伊予街道」と近代産業を支えた「日鉱軽便鉄道敷」をトレッキングしながら、沿道の歴史的建造物や史跡を巡り、まちづくりに寄与する活動としました。

まずは、市民センターに集合しガイダンスをしていたところ、別府支部の興田君から連絡があり、「自転車で馳せ参じているが遅れる」とのこと。これには、参加者一同で”えっ、別府からチャリ～” 啞然！

程なく、到着し一同でトレッキングスタート！

国道217を横断し、いざ「伊予街道」へ！途中、久原鉦山跡や日鉦社宅跡地を見ながら「有屋峠」を超え、古宮地区に進みます。ここには、大正9年頃に建築された陸軍の豊予要塞司令部の官舎が残存しており、これを調査した大分支部の久野氏より説明をしてもらいました。



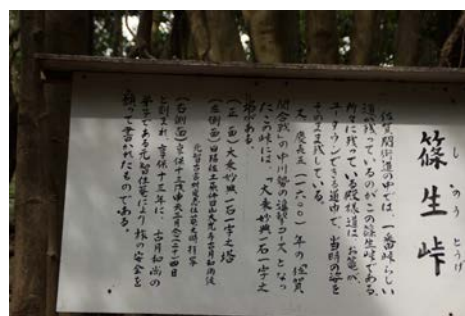
さて、これから山道に分け入ることとなり、

1列縦隊でテンポよく歩いていたら、次第に勾配もきつくなってきたあたりから、一部の参加者が遅れ気味に！私のガイドの区間ではないため最後尾を確認したところ、なんと関支部のスタッフじゃねーか？参加者をサポートするごころか、足手まといになってる！一喝して先頭に復帰！

虎御前峠の頂上では、ボラガイドの説明を受け、一同感嘆！一休憩し集合写真でパチリ！



いよいよ、本日一番の難所で標高160mの「篠生峠」に進みます。街道は一部区間で土砂崩れしており、急峻な迂回路を進みます。本道に戻っても倒木や転石がごろごろしており、慎重に歩を進め、やっとのことで篠生峠に到着。ここで、ガイドの説明を受けました。



ここからは、一気に下りますが、ここでも

スタッフが遅れ気味に！なんと足が攣りだしたとのこと。日ごろからのトレーニングが足りないので、一喝！



小志生木のふもとに到着し、薬研彫の道標を説明し、さらに西へ進みます。



ここからは、平坦な道になり一行の歩は、どんどん進みます。途中、椿の群生があり、参加した子供さんに、花の蜜を吸わせたところ、「おいちゃん、美味しいっ！」て喜ばれました。

昼食会場の、道の駅佐賀関まで、あと1km！叱咤激励し、ようやく到着！

目当ての”海鮮丼とクロメ汁”を注文したところ、他のお客さんが多く、注文を受けられないとのこと！・・・これには一同驚愕！・・・

しょうがなく、クロメたこ焼きを注文し、空腹を凌ぎました。

ここで、一部の参加者はリタイヤしましたが、一行は気を取り直し、”旧日鉱轻便鉄道”をトレッキング再開。

轻便鉄道の説明をしたのち、参加者から大分県には、轻便鉄道が多くあり、中津・国東・大分・別府にもあったとのこと。話が盛り上

がり、県内の轻便鉄道トレッキングをやる。と勢いが増しました。(笑)

海岸沿いの鉄道敷きをひたすら歩を進めま。途中、駅があった場所で、当時の写真と現代の風景を重ね合わせて、時代の流れを感じ取りました。



また、磯場のみえる場所では、太公望の喜びそうなポイントの説明や海藻の種類などを説明しました。

これには、参加者もグイグイ釣られ、「磯釣り大会もしたいな〜。」と新たな注文も！

ほんとは、遊び足りない”おいさん”は困ったものです。

古宮海岸を過ぎたあたりから、日鉱佐賀関製錬所が一望できるポイントがあり、ここで記念撮影！パチリ・・・



市民センターに無事到着！全行程歩行距離は約13.5kmを完歩しました。

閉会式では、参加者から「道の駅佐賀関以西の街道を歩きたい！」「高島の戦争遺跡を見たい」「クロメを採りたい。食べたい。」との建築に関係ない要請？も多々あり、今後の事業にて検討することを約束(汗)して本事業を終了しました。

参加されたみなさん、大変お疲れ様でした。※追伸、来年は、事業の方向性を見定めるため、一旦休止します。充電したのちパワーアップして復活しますので乞うご期待！